

たいぎ 議会だより

No.180

2020
令和2年
4月発行

予算可決

令和2年度予算を集中審議

【特集】私が注目した予算はこれだ！

P4～8

一般質問

5名の議員が9項目を問う

「認知症の方へのGPS貸出し」「教育現場の働き方改革」など… P9～14

※写真は、4月8日に行われた大樹小学校入学式の様子です。
新型コロナウイルス感染症予防対策のためマスク着用で実施されました。

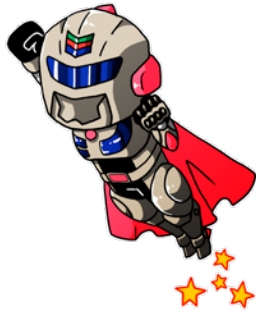
発行／北海道大樹町議会

編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

一般会計 歳入歳出予算の 9,500万円としました

条例改正、協定締結、
補正予算、当初予算
など31件を議決!!

令和2年度 予算議決!



会計区分(当初予算)	令和元年度	令和2年度	
一般会計	64億500万円	69億9,500万円	
特別会計	国民健康保険事業	7億830万円	6億7,280万円
	後期高齢者医療事業	9,790万円	9,630万円
	介護保険	7億1,180万円	7億290万円
	介護サービス事業	3億9,310万円	4億3,770万円
	公共下水道事業	4億2,480万円	3億1,390万円
	水道事業	8億6,260万円	8億2,000万円
	国民健康保険病院事業	10億7,050万円	11億4,640万円

賛否の分かれた議案

※安田議長は表決に加わりません。

議案名		寺嶋誠一	辻本正雄	吉岡信弘	西山弘志	村瀬博志	船戸健二	松本敏光	西田輝樹	菅敏範	志民和義	齊藤徹	安田清之	結果
第1回定例会	令和2年度大樹町一般会計予算 令和2年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ69億9,500万円としました。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	原案可決
	令和2年度大樹町後期高齢者医療特別会計予算 令和2年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ9,630万円としました。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	原案可決

賛成

寺嶋 誠一 議員

地方交付税や税収の増加により基金繰入額は減少しており、地方債の償還額も減少していることなどから、持続的な財政運営に配慮した姿勢が認められ、評価できるものと考え、よって、本案に賛成する。

討論

志民 和義 議員

税の滞納者対策は、滞納整理機構に負担金を支出するのではなく、町職員によって解決することが重要であると考え、よって、本案に反対する。

反対

賛成

辻本 正雄 議員

後期高齢者医療制度は、高齢者の方が安心して医療を受けられるよう構築されたもので、安定した事業運営が行われており、町の事務処理も適切に遂行されていると考え、よって、本案に賛成する。

討論

志民 和義 議員

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別するものであるとの批判が多く、それまでの老人保健制度による事業運営で問題なかったと考え、よって、本案に反対する。

反対

第1回
定例会

議案審議

3月3日～3月13日(11日間)

令和2年度の
総額を69億

新型コロナウイルス対策本部設置 関係機関と連携して必要な対策を講じる

行政
報告

北海道知事の緊急事態宣言を受け、大樹町でも新型コロナウイルス対策本部を設置し、小中高等学校の休校や町主催事業の中止または延期などの措置を講じました。

問 齊藤 徹 議員

まちの経済に対する損失状況を把握しているか。

答 酒森町長

現状はまだ把握できていないが、関係団体などと連携して情報共有を図り、必要な対策を講じていく。



マスク着用で行われた
大樹中学校卒業式

プレミアム付商品券事業 令和元年度は合計628名に対して交付

一般会計
補正

消費増税に伴い、低所得者や子育て世帯の負担軽減と、地域における消費の喚起・下支えを目的とするプレミアム付商品券事業の事業費が確定したため、342万1千円減額しました。

問 志民 和義 議員

この事業の対象者の当初見込と実績は。

答 井上保健福祉課長

当初見込1,200名に対し、住民税非課税者499名と該当する子どもを養育する世帯主129名の実績となった。



大樹町プレミアム付商品券

有害鳥獣駆除事業 北海道猟友会大樹支部の協力により駆除

一般会計
補正

鳥獣被害防止特措法に基づき、鳥獣による農林業への被害の防止を目的とする有害鳥獣駆除事業の謝礼を126万7千円減額しました。

問 菅 敏範 議員

謝礼を減額した主な要因は。

答 佐藤農林水産課長

国家公務員の死亡事故を受け、国有林や道有林で駆除することができなかったことが主な要因となっている。



農作物などに食害を及ぼす
エゾシカ

特別委員会

安田議長を除く11名で徹底審議！



齊藤 徹委員長

予算はこれだ！



齋藤 健二委員



松本 敏光 副委員長



西岡 輝樹委員



菅 敏範委員



志民 和義委員

問

水道料金の改定に向けた検討状況は

答

令和2年度に検討。水道施設全般の老朽化対策も、財源の先行きを見据えて計画的に行う必要がある

問

町営牧場作業用車両借上料の増額理由は

答

作業機械の故障で購入予定だが、納期が遅れるので、令和2年度のみ委託するため

問

今後の公共料金の改定に向けた考えは

答

時代の変遷や消費税率の改定などを受け、あらゆる分野で検討を進めていく必要がある

問

外国人向けのごみ分別表の周知方法は

答

英語とベトナム語で作成し、転入者や雇用主の協力により周知に努める

問

地域公共交通計画の内容と補助金の内訳は

答

交通弱者対策を踏まえ公共交通ネットワークの構築に向け、国から2分の1の補助を受けて計画を策定する

特集

令和2年度 予算審査

3月9日～3月11日(3日間)

納得のいく
説明求む!

私が注目した



寺嶋 誠一 委員



辻本 正雄 委員



宮岡 信弘 委員



西山 弘志 委員



村瀬 博志 委員

問

漁業振興事業補助金の内容は

答

令和2年度から、漁業協同組合などが行う資源管理・資源増殖事業、漁業経営改善事業、流通・消費拡大事業などに対して補助を行う

問

畜産農業振興のためスペシャリスト養成を

答

どの分野の職員にもプロ意識を持って職務にあたるよう伝えており、新たな事業などの情報収集も含め、しっかりと対応していく

問

法人認定子ども園建設後の施設の後利用は

答

南・北保育園の施設が空いた段階で、活用させていただけないか法人に申し出ており、地域の皆様とも検討していきたい

問

給食運搬車デザイン等制作業務の内容は

答

学校給食センターをPRするため、運搬車の荷台にデザインを施し、ラッピングする

問

緊急通報用装置について周知徹底を

答

地域の実状をよく知る民生委員の協力で周知。広報紙などを通じ、再度周知徹底に努める

2年度の予算状況◇



晩成行政区会館改築工事（6,000万円）
老朽化している行政区会館を計画的に整備



日本ハムファイターズ応援大使活動補助金（100万円）
大樹町応援大使 村田選手、マルティネス選手、石川選手



給食運搬車デザイン等制作業務（53万円）
荷台にデザイン等を施し、学校給食センターをPR



衛生殺菌消臭水生成装置設置工事（349万円）
汎用性の高い次亜塩素酸水を生成できる装置を更新

老人ホームの冷房設備工事

問 菅 敏範 委員

老人ホームのホールに冷房設備を設置するが、この他に設置が必要な場所はあるか。

答 明日見特別養護老人ホーム所長

デイルームと会議室に設置しているが、利用者の居室の一部や厨房にも必要ではないかと検討している。

日本ハムファイターズ応援大使

問 西山 弘志 委員

日本ハムファイターズ応援大使活動とは。

答 伊勢企画商工課長

地域貢献活動の一環で、選手と共に町のPRを行うもの。内容は大樹後援会と協議することになるが、町民を対象とした応援ツアー実施やグッズ作成などを予定している。

有害鳥獣駆除謝礼単価の増額

問 菅 敏範 委員

謝礼単価をエゾシカ6,000円、キツネ・アライグマ3,000円に増額した理由は。

答 佐藤農林水産課長

これまで謝礼単価を長らく据え置いていたが、猟友会からの要望を受け、十勝管内の平均を考慮し改定を行う。

衛生殺菌消臭水生成装置の更新

問 辻本 正雄 委員

老人ホームの衛生殺菌消臭水生成装置とは。また、新型コロナウイルス対策での利活用は。

答 明日見特別養護老人ホーム所長

強力な殺菌・消臭効果がある次亜塩素酸水を生成するもので、施設内の感染拡大や食中毒の防止に有用となる。

答 酒森町長

既に各公共施設に設置しており、各行政区に対して通知を行い、利活用を奨励している。

大樹町では、このアプリで「広報たいき」と「たいき議会だより」を配信しています。お手持ちのスマートフォンやタブレット端末に、無料でダウンロードすることができます。他市町村の広報紙なども配信されていれば、いつでも気軽にご覧になれます。興味のある方は、こちらのQRコードを読み込んで、アプリをダウンロードしてください。



マチイロ

大樹エアロスペーススクール

問 菅 敏範 委員

令和2年度も大樹町で開催されるのか。
大樹高校生参加枠はあるのか。



答 大塚企画商工課参事

大樹町で開催される予定で、大樹高校生参加枠を2名に増やすことも可能。

除排雪業務の予算編成方法

問 寺嶋 誠一 委員

公共施設と町道の除排雪業務を年5回想定しているが、近年の異常気象等の状況も踏まえて予算編成方法を見直すべきではないか。

答 酒森町長

令和3年度の予算編成にあたり、どのぐらいの予算規模とするのか、どのように歳入を確保するのかなども踏まえて検討していく。

農業用ビニール処理の助成

問 辻本 正雄 委員

新たな交付金事業において、農業用ビニール処理の助成が該当にならないことで、不適切に処理される可能性がある。町が焼却炉を設けることで、適切に処理されるとともに、その排熱利用も可能と考えるがどうか。

答 酒森町長

J A大樹町が取りまとめ、農家に焼却炉を斡旋して適切に処理していると聞いている。経済活動から出る廃棄物なので、J A大樹町や地域において検討願いたい。

街灯の省エネルギー化

問 西田 輝樹 委員

街灯の省エネルギー化に向けた更新状況は。

答 鈴木総務課長

L E D灯677本、水銀灯よりも長寿命の無電極放電灯432本、水銀灯186本であり、更新は概ね完了している。

◇写真で見る 令和



大樹エアロスペーススクール実施業務（150万円）
全国各地の高校生が「宇宙科学実験の最前線」を体験



ふるさと大橋補修工事（7,000万円）
平成9年12月に完成した、ふるさと大橋を補修



漁業振興事業補助金（200万円）
漁協などが行う新規事業に対して補助金を交付



屋外ゲートボール場新設工事（2,236万円）
海洋センターから高齢者健康増進センターに移転



マチイロという



スマートフォン用アプリをご存じですか？

令和2年度 町政・教育行政執行方針

町政



酒森 正人 町長

「やすらぎを生み出す」～人と自然にやさしいまちづくり～

- 町道改良舗装等工事
- ふるさと大橋の補修工事
- 地域公共交通計画を策定
- 公共施設への木質バイオマス・太陽光発電などの利活用
- 日方団地1棟4戸の新築
- 防災行政無線のデジタル化整備工事

「健やかに暮らす」～安心と支えあいのまちづくり～

- 特定健診の受診勧奨と重症化予防策の継続
- 新型コロナウイルス感染拡大の予防策
- 法人認定こども園の改築に向けた支援
- 心身障がい者・ひとり親家庭・乳幼児・児童の医療費助成

「人が輝く」～夢を育み学びの意欲を高めるまちづくり～

- 大樹町教育大綱の推進

「活力を高める」～資源を豊かさにつなげるまちづくり～

- 畜産担い手育成総合整備事業による草地整備
- 多面的機能支払交付金による地域資源の保全管理
- 病害虫の土壌感染対策、有害鳥獣被害対策
- 水産業の活性化に向けて漁業振興事業を支援
- 起業家等支援事業を5年延長
- 日本ハムファイターズ応援大使活動を支援

「明日につなぐ」～交流と協働で進めるまちづくり～

- 指定避難所の晩成行政区会館を改築
- 宇宙交流センターSORAに説明員を配置
- L1射場整備・滑走路延伸に向けた調査設計業務
- まち・ひと・しごと創生寄附金(企業版ふるさと納税)の活用

町ホームページからも
ご覧いただけます



町政



教育行政

教育行政



板谷 裕康 教育長

生涯にわたり育てる環境づくり

- ICT※を活用した授業改善による学習意欲・学力の向上
- コミュニティスクールの充実、地域の教育力の向上
- 小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業の推進
- 大樹高等学校振興会への助成強化

生涯にわたり学ぶ環境づくり

- ライフステージに応じた学習機会の充実
- 高齢者健康増進センターに屋外ゲートボール場を移転

※ICT…インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジーの略。情報処理だけでなく、インターネットのような通信技術を活用したコミュニケーションを図ること。

町民の声を 町政に届ける

こんな質問が
されていたっピ!



ここが
聞きたい!

一般質問

町民の代表として5名の議員が
9項目について質問しました



西田 輝樹 議員

- ◎スマート街区構築事業の関連事業について
- ◎第5期大樹町総合計画執行について



西山 弘志 議員

- ◎危険木から町民の生命・財産を守る条例の制定について
- ◎認知症の方に対するGPSの貸出しについて



志民 和義 議員

- ◎年金制度について
- ◎大樹高校入試出願状況について



菅 敏範 議員

- ◎教育現場における働き方改革の実施を
- ◎漁業の活性化に早期の取り組みを



齊藤 徹 議員

- ◎小中学校のプログラミング教育と学校運営の今後の考え方について

◆一般質問とは◆

一般質問は、町が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。
年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は1問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

議員と町長が対面して、1つ質問をして、1つ回答をします。

・事前通告

質問する議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

※ 1名につき1ページを割り当て、内容を要約して掲載しています。

ここが聞きたい!

一般質問

質問

町民に身近な総合計画の執行を

答

関係団体から意見集約して執行

Q1 スマート街区構築事業の関連事業について

質問

スマート街区構築事業の概要と、再生可能エネルギー計画策定の考えは。

答 (酒森町長)

役場庁舎新築に合わせ、小学校や生涯学習センターを含む公共施設群に、木質バイオマスボイラーや太陽光発電を導入し、再生可能エネルギーの効果的な活用と、非常時対応を可能にするエネルギー供給体制を構築する。
また、町では、平成26年と30年に木質バイオマス関連の計画を策定しており、新たな計画を策定する予定はない。

質問 環境家計簿の推進や、ゼロカーボンシティ挑戦の考えは。

答 (酒森町長)

電気やガスなどの使用量を記入することで、二酸化炭素排出量が算出される環境家計簿は、ライフスタイルを見直す有効な手段と考えるので、既に取り組んでいる自治体を参考にPRしていく。
また、現時点でゼロカーボンシティの考えはないが、引き続き二酸化炭素排出量の削減に向けた取り組みを進める。

質問 電気自動車などの積極的導入の考えは。

答 (酒森町長)

電気自動車は、一般家庭の2〜4日程度の電力を賄うことができ、災害時に有効であるほか、走行時に二酸化炭素を排出しないので、環境性にも優れている。
一方、走行距離や充電時間の問題もあるので、今後の性能向上に注視しながら、必要に応じて導入を検討していく。

Q2 第5期大樹町総合計画執行について

質問

総合計画執行計画の基本的な考え方は。

答 (酒森町長)

主に総合的な調整が必要となる公共施設のあり方などについて、執行計画を策定して検討を進め

ている。個々の事業については、必要に応じて調整しながら執行している。

質問

町民の意見集約はどのように行うのか。

答 (酒森町長)

個々の事業を進める中で、各種委員会や関係団体などからの意見を集約しながら執行している。

質問

町が策定した各種計画は、公共施設などに配置しているか。

答 (酒森町長)

総合計画をはじめとする各種計画は、一部の公共施設や図書館で閲覧できるほか、ホームページでも公開している。



西田 輝樹 議員



第5期大樹町総合計画の執行

※ゼロカーボンシティ…2050年に温室効果ガスや二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを旨と公表した自治体。

ここが聞きたい!

一般質問

危険木から町民を守るために



Q1 危険木から町民の生命・財産を守る条例の制定について

質問

倒木寸前で被害を及ぼす恐れのある民間所有の危険木を、町が円滑に処分できるよう、危険木から町民の生命・財産を守る条例を制定しては。

答

(酒森町長)

樹木は、個人の責任のもとで管理されるものであり、倒木や危険木であっても、道路管理者である町が所有者の同意なく伐採することはできないこととなっている。通常の道路パトロールなどで、倒木や危険木を確認した際、所有者に対して伐採などの処理を要

答

各種法令などを参考に必要性を検討

質問

危険木から町民を守る条例の制定を

請している。

所有者が様々な事情により伐採などの処理ができない場合は、所有者の同意を得て町が処分している。しかし、所有者不明などにより同意を得ることが困難で緊急を要する場合に限り、所有者の同意を得ずに町が処分せざるを得ないこともある。

条例の制定について、町が必要最小限の措置を取ることができるようになるものとして、各種法令などを参考にしながら、必要と判断した場合には検討を進めていく。



Q2 認知症の方に対するGPSの貸出しについて

質問

2025年に団塊の世代が75歳以上になることで高齢化が進み、認知症を発症する方が高齢者の5人に1人になると推計されている。

町では、認知症予防に向けた様々な取り組みを実施しているが、対策の1つとして、認知症の方に対する*GPSの貸出しを行ってみてはどうか。

答

(酒森町長)

行方不明になる可能性のある認知症の方を、家族の同意を得て、徘徊高齢者等SOSネットワークシステムに登録し、警

察署をはじめ地域の22団体に協力いただき、早期に見発見できる仕組みを構築している。

GPS機能を持つ機器の貸出しについては、町が購入して家族に貸し出すのか、家族が購入して町から助成を受けるのか、機器の管理方法や対象者の選定方法をどうするのかなど、様々な課題があることから、既に取り組んでいる自治体から情報収集し、今後検討する。また、町では、認知症の方とその家族を見守る応援者として、認知症サポーターを積極的に養成し、地域での見守りの中で、日頃から安心して暮らせる地域づくりを進めている。



西山 弘志 議員

*GPS…グローバル・ポジショニング・システムの略。人工衛星からの電波を測ることによって、現在位置を知ることができる装置。

ここが聞きたい!

一般質問

質問

国民年金制度の不安解消の要請を

答

町村会と連携し必要な対応に努める

Q1 年金制度について

質問

国民年金制度において、2004年にマクロ経済スライドが導入され、年金受給額が減らされたことで、老後の生活を不安なものにしている。

マクロ経済スライド廃止を国に求めているかどうか。

答 (酒森町長)

マクロ経済スライドは、現役人口減少や平均寿命の延びなどの社会情勢に合わせ、年金の給付水準を自動的に調整する仕組みとして導入された制度。少子高齢化が急速に進む中、年金の財政再計算を行う度に、保険料水準の見通しが上がり続けた

Q2 大樹高校入試出願状況について

質問

ため、将来の保険料負担がどこまで上昇するのかを懸念し、導入した制度と承知している。国民年金制度は、日本全体の問題であり、今後社会保障制度のあり方の議論を注視しつつ、町村会などと連携しながら必要な対応に努める。

令和2年度の大樹高校入試出願状況は現在34名となっており、昨年度に引き続き2年連続で1クラスとなることが予想される。入学者が40名を切った状態で2、3年続いた場合の影響は。

答 (板谷教育長)

普通科がある道立高校は、全道で103校あり、そのうち1学年が2クラス以下の学校は53校、全学年が1クラスの学校は33校となっている。大樹町と同規模の道立高校で、5年連続1クラスとなつてしまった学校も2クラス募集であることから、ただちに統廃合の対象にはならないと考えている。

質問

入学者確保に向けた今後の対策は。

答 (板谷教育長)

令和2年度から、入学時の補助を倍増するとともに、通学費の全額補助や部活動における全国大会出場への助成などを継続して実施する。



志民 和義 議員

大樹高校は、ユニバーサルデザインを踏まえた授業を展開するなど、高校の独自性を高める取り組みを行っており、北海道教育委員会から高い評価を得て、文部科学大臣表彰を受賞している。今後も大樹高校活性化推進協議会を中心に、町や高校はもろろん同窓会や町民の方々と連携して、魅力ある高校づくりの推進に努めていく。



年金制度に対する不安解消を



ここが聞きたい!

一般質問



秋の味覚ししゃもの初水揚げ

質問

漁業者に対する町独自の対策は

答

補助金を交付し水産業の活性化を支援

令和元年度から出退勤管理システムを導入したので、データの分析により実態を把握したい。

授業の準備やテストの作成と採点、少年団や部活動の指導など業務は多岐にわたり、長時間労働の実態があることは認識している。

【答】(板谷教育長)

一億総活躍社会の実現に向けて施行された働き方改革法は、長時間労働の解消、非正規職員と正規職員の格差是正、高齢者の就労促進を柱としている。教育現場における実態は。

【質問】

Q1 教育現場における働き方改革の実施を

【質問】

少年団や部活動の指導者に地域の経験者を活用しては。

【答】(板谷教育長)

スケートや野球などの少年団では、教職員だけでなく保護者や地域の経験者に指導をお願いしている。今後も地域と学校の連携を深め、教育現場の長時間労働改善の一助となるよう進めていく。

Q2 漁業の活性化に早期の取り組みを

【質問】

秋さけ定置網漁が3年連続の極端な不漁、ししゃも漁も悪天候の影響で落ち込み、深刻な事態を招いている。漁業者が希望を持って漁業に従

事できるようにするため、町独自の対策の考えは。

【答】(酒森町長)

秋さけ定置網漁業者が関係団体に負担する会費のうち、不漁による特例措置で上昇した負担率の一部に対して補助金を交付しており、令和2年度についても状況をみて対策を検討する。

また、既存事業に加え、資源管理と増殖、漁業経営の改善、流通と消費拡大の取り組みに対し、漁業振興事業補助金を交付し、まちの水産業の活性化に向けて支援していく。

【質問】

国や道との連携をどのように進めていくのか。

【答】(酒森町長)

これまで、漁港施設や漁船航路の整備などを連携して実施していたが、今後も国や道、十勝管内沿岸4町3漁協と連携し、漁業振興につながる有効な取り組みが推進されるよう、積極的に協力と支援をしていく。

【質問】

海洋汚染や流木対策など、環境改善に対する考えは。

【答】(酒森町長)

ごみや流木などの海岸漂流物の迅速な処理、河川上流における※スリットダムの早期建設について、国や道に対する要望を継続し、漁場の環境改善に努める。



菅 敏範 議員

※スリットダム…通水部に、くし状の隙間や鋼管の格子状構造物を設けた砂防ダムの型式の1種。主に土石流や流木対策として用いられる。

質問

※ GIGAスクール構想実現の考えは

答

国の補助事業を活用し積極的に進める



齊藤 徹 議員

Q1 小中学校のプログラミング教育と学校運営の今後の考え方について

質問 令和2年度から必修化される小学校のプログラミング教育の詳細は。

答 (板谷教育長)

コンピュータを活用し身近な問題を解決したり、創意工夫により様々な取り組みを実現したりする学習活動と認識している。

質問 文部科学省の計画どおり、小中学校に1人1台のタブレットを整備し、GIGAスクール構想の実現を考えているのか。

答 (板谷教育長)

デジタル教科書の本格的な導入を見据え、子ども達の個別最適化と創造性を育む教育の実現に向け、1人1台のタブレットを整備する必要がある。

答 (酒森町長)

GIGAスクール構想の実現に向けて、国の補助事業などを活用しながら、積極的に進めていく。

質問 GIGAスクール構想の実現にかかる総事業費と一般財源は。

答 (瀬尾学校教育課長)

現時点で、総事業費を5,300万円程度と見込んでおり、仮に全額補

助対象となった場合、一般財源は1,060万円程度と見込まれる。

質問

整備後の維持管理費は町費負担が想定されるが、町村会を通じて国や道に働きかけてはどうか。

答 (酒森町長)

国の方針に基づいて計画的に導入する取り組みであるため、道や十勝全体で強く要請していく必要がある。

質問

学校力向上に関する総合実践事業から広域化総合事業に変更されるメリットとデメリットは。

答 (板谷教育長)

他町との連携により学ぶ機会が増加するメリットはあるが、加配教員を1名に減らされてしまうデメリットもある。

質問

今後、町独自で教員配置基準を設定する考えは。

答 (板谷教育長)

きめ細やかな指導の充実を図るため、特別支援教育支援員の拡充と町費負担による教員採用などの取り組みを早急に検討する必要がある。

答 (酒森町長)

人材確保の方法などを含め、早い段階から検討する必要があると考える。

必修化されるプログラミング教育



※GIGAスクール構想…全国の小中学校の児童生徒に対し、1人1台コンピュータを前提とした、高速ネットワーク環境整備に関する構想。



一目でわかる 審議結果

全会一致の議案

第 1 回 定 例 会	大樹町公平委員会委員の選任 大樹町公平委員会委員に、高野静子氏、大庭滋理氏、尾藤宏樹氏を再任しました。	同意
	大樹町職員定数条例の一部改正 地方公務員法などの改正に伴い、準職員制度を廃止し、定数内職員としました。	原案可決
	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正 会計年度任用職員制度の新設に伴い、義務付けられているサービスの宣誓手続きを簡略化できるようにしました。	原案可決
	大樹町基金条例の一部改正 宇宙のまちづくり推進事業に充てるために募る、まち・ひと・しごと創生寄附金（企業版ふるさと納税）を基金として積み立てることができるようにしました。	原案可決
	大樹町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部の改正 放課後児童支援員が修了すべき研修の主催者に、政令指定都市の長を加えました。	原案可決
	大樹町給水条例の一部改正 指定給水装置工事事業者の更新期間を5年と定めることとしました。	原案可決
	大樹町過疎地域自立促進市町村計画の変更 過疎対策のために実施する事業の追加について、北海道知事との協議が整ったので計画を変更しました。	原案可決
	定住自立圏の形成に関する協定書の一部を変更する協定書の締結 現行の第2期共生ビジョンの計画期間満了に伴い、次期共生ビジョンを策定するため、協定書の一部を変更する協定書の締結について議決しました。	原案可決
	財産の無償譲渡 歴舟中学校敷地として指定寄附を受けた土地の一部を、寄附者相続人に無償譲渡しました。	原案可決
	大樹町公共下水道大樹下水終末処理場の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結 大樹下水終末処理場建設工事（機械・電気設備）の委託について、最終事業費が確定し、当初事業費より減少したことに伴い、協定の一部を変更する協定を締結しました。	原案可決
	十勝管内自治体病院医薬品等共同購入協議会を組織する町数の減少及び十勝管内自治体病院医薬品等共同購入協議会規約の変更 現在、十勝管内7自治体病院で組織している本協議会から広尾町が脱退することによる規約の変更について議決しました。	原案可決
	令和元年度大樹町一般会計補正予算（第7号） 歳入歳出それぞれ9,591万2,000円を追加し、予算の総額を69億2,407万2,000円としました。	原案可決
	令和元年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ425万6,000円を追加し、予算の総額を7億2,719万8,000円としました。	原案可決
	令和元年度大樹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ432万1,000円を減額し、予算の総額を9,357万9,000円としました。	原案可決
	令和元年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ2,508万3,000円を減額し、予算の総額を7億3,470万5,000円としました。	原案可決

次のページへ続く

第 1 回 定 例 会	令和元年度大樹町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
	歳入歳出それぞれ2,028万2,000円を減額し、予算の総額を3億7,370万4,000円としました。	
	令和元年度大樹町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
	歳入歳出それぞれ2,019万4,000円を減額し、予算の総額を4億1,047万8,000円としました。	
	令和元年度大樹町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
	収益的収入の予定額を4億7,359万1,000円、収益的支出の予定額を5億1,304万7,000円としました。 資本的収入の予定額を5,223万4,000円、資本的支出の予定額を3億2,844万1,000円としました。	
	令和元年度大樹町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）	原案可決
	収益的支出のうち、医業費用を20万円増額し、医業外費用を20万円減額しました。	
	令和2年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算	原案可決
	令和2年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億7,280万円としました。	
	令和2年度大樹町介護保険特別会計予算	原案可決
	令和2年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億290万円としました。	
	令和2年度大樹町介護サービス事業特別会計予算	原案可決
	令和2年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億3,770万円としました。	
令和2年度大樹町公共下水道事業特別会計予算	原案可決	
令和2年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億1,390万円としました。		
令和2年度大樹町水道事業会計予算	原案可決	
令和2年度の収益的収支の予定額を5億290万円、資本的収支の予定額を3億1,710万円としました。		
令和2年度大樹町立国民健康保険病院事業会計予算	原案可決	
令和2年度の収益的収支の予定額を10億9,139万円、資本的収支の予定額を5,501万円としました。		
令和元年度大樹町一般会計補正予算（第8号）	原案可決	
歳入歳出それぞれ1億296万8,000円を追加し、予算の総額を70億2,704万円としました。		
民族共生の未来を切り開く決議	原案可決	
ウポボイ（民族共生象徴空間）の開設を機に、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ、北海道が魅力ある大地であり続けるため、道民が協力して民族共生の未来を切り開いていかなければならないと決議しました。		

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は **6月**です。
ぜひ気軽に傍聴にお越しください。

詳細は議会事務局へお問い合わせください。

TEL 6-5035

請願・陳情はどなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

広報広聴常任委員会 広報部会



委員長 志和 正雄
副委員長 辻本 正雄
委員 吉岡 信弘
委員 西山 弘志
委員 船戸 健二
委員 齊藤 徹
委員 西山 弘志

編集後記

笑顔の新1年生が入学し、春の訪れを感じます。多くの友達と、元気に勉強やスポーツなど、学校生活を楽しんでください。

また、これから働き始める新社会人の皆さんには、様々な苦難が待ち受けていると思いますが、大樹魂で乗り越えてください。

大樹町の「未来」である方々を、みんなで温かく応援していきましょう。

委員 西山 弘志